

【様式7】

会 議 録

会議の名称	第3回 北本中学校運営協議会	
開催日時	令和2年12月17日(木) (開会) 13:50 (閉会) 16:00	
開催場所	北本市立北本中学校 校長室	
出席者氏名(委員)	針谷 紀子 委員、黒川 範子 委員、吉田 伸吾 委員、有田 めぐみ 委員 吉田 良江 委員、宮尾 孝 委員、川上 嘉久 委員、福田 裕臣 委員	
欠席者氏名(委員)	石井 洙光 委員	
傍聴者	0 名	
議題	(1) 11月までの学校経営の進捗状況について (2) 学力調査等の分析からみえる学力について (3) hyper-QU からみえる生徒の様子について (4) 学校課題研究を通じた目指す生徒像について	
協議等 要 旨	協議結果	意見の概要
	(1) 様々な取組を行い、生徒は着実に成長している。組織のトップが何事にもチャレンジすることで組織を活性化される。校長の思いが教職員に伝わり具現化されている。	・話し合い活動をしていなくても、生徒は静寂の中でしっかり学習に集中している。 ・ほっとルームなど様々な施設がありハード面が充実している。
	(2) 整った環境、居心地のよいクラスが学力向上の一躍を担っている。生徒一人一人をしっかりと正面から見つめていることが成績の伸びの背景にある。	・県学調のすばらしい結果は、のびのびと発言できる雰囲気をつくっている学級経営がしっかりできている証拠である。 ・「学校での生活が楽しい」の質問に対し、県は学年が進むにつれ下がっているが、北中は上がっている。学校生活が充実している証拠である。
	(3) hyper-QU は一人一人の現状を的確に示しているが、それがすべてではない。生徒と同時に家庭を含めたアプローチも必要なのではないか。	・結果をすべて鵜呑みにすることはできないが、学級担任を中心に分析してほしい。 ・打てる手はすべて打つべきである。
	(4) キャリア教育にもいろいろな切り口があり、焦点化をしないといけない。人間力の育成という点では大変素晴らしいテーマである。今後は、教科で取り組んでいくことも検討してほしい。	・主題は3校共通で、サブテーマが各校独自であるが、主題は3校共通で目指すところは同じである。 ・現状を知る上でアンケートは効果的である。小学校でも同じアンケートをすることで経年変化が楽しみである。 ・年度途中で組織を変えることは難しい。
配付資料	(1) 学校経営方針 11月までの進捗情報 (2) 埼玉県学力・学習状況調査の分析結果 (3) hyper-QU の見方と本校の特徴 (4) 本年度の学校課題研究と実態アンケートの結果	

